

**新型コロナ、及び、新型コロナ・インフルエンザ
抗原検査キット市販後のReview**

**2024年5月20日
日本OTC医薬品協会**

Review 1

新型コロナやインフルエンザ罹患者の**55%**が市販の抗原検査キットを活用して感染症に対処。

活用が広がった主な理由は、以下の通り。

1. 症状から陽性の可能性があり、不安を感じたため
2. 陽性か陰性か、結果をすぐに知りたかったため
(出勤・通学などの判断のため)
3. 事前に検査をすることで病院に行く必要があるか判断するため
4. 自宅に抗原検査キットがあったため
5. 病院に行く時間がない、病院から指示された、病院が閉まっていたため

Review 2

市販の抗原検査キット（2種）の
累計販売数量は**4,536万個**（1個入換算）。
医療費換算すると**3,400億円超**。

調査概要

①生活者調査（Review1）

調査方法	Webアンケート調査
調査地域	全 国
調査対象	20～69歳の男女
有効回答数	32,604サンプル
調査実施時期	2024年3月28日～4月1日
調査主体	株式会社インテージヘルスケア バリュース&アクセス部
調査内容	抗原検査キットによるコロナウイルス感染様症状のある方の行動変容に関する調査

②市場調査（Review2）

データソース	インテージ SRI+（全国小売店パネル調査）
データ収集方法	POSデータのオンライン収集（母集団設定と店舗属性を活用した拡大推計）
調査店舗数	5,300店舗からの拡大推計
対象業態	ドラッグストア、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、ホームセンター・ディスカウントストア（オンライン販売は除く）
対象カテゴリ	抗原検査薬（研究用は除く）
調査項目	各店舗におけるバーコード別の販売年月日、販売個数、販売金額など

調査結果に基づく5つのポイント

1. 5類感染症へ移行後、調査対象者32,604人の内、8,679人（4人に1人）が新型コロナウイルス感染症、又はそのような症状を経験。
 2. 新型コロナウイルス感染症の症状を感じた際、市販の抗原検査キットを活用した人は、8,679人の内、4,766人（55%）。
- 調査データ1**
3. 市販の抗原検査キットを使い、セルフチェックした理由は、市販ならではの**Benefit**となっている。
- 調査データ2**
4. 自宅療養による経過観察か、受診するかの判断は抗原検査キットによる「セルフチェック」と「自身の症状」によって決めていた。
- 調査データ3 - ①~④**
5. 市販の新型コロナ、及び、新型コロナ・インフル同時検査キットの累計販売数量は4,536万個（1個入換算）。
それに基づく医療費換算では3,400億円以上。

市販の抗原検査キットを使い、セルフチェックした理由は市販ならではのBenefit！

- | | |
|---------------------------------------|---------|
| 1. 症状から、陽性の可能性があり不安を感じたため | … 53.0% |
| 2. 陽性／陰性の結果をすぐに知りたかったため（出勤・通学の判断のため等） | … 24.0% |
| 3. 事前に検査をすることで、病院に行く必要があるか判断するため | … 21.6% |
| 4. 自宅に抗原検査キットがあったため | … 20.2% |
| 5. 家族、知り合い等にすすめられたため | … 9.7% |
| 6. 病院で受診したいが行く時間がないため | … 8.0% |
| 7. 病院から求められたため | … 6.3% |
| 8. 症状は無かったが、濃厚接触者であったため | … 5.6% |
| 9. 病院が閉まっていたため | … 4.4% |
| 10. 医療機関にかかる検査の手間を減らすため | … 4.1% |

上記の調査対象：市販の抗原検査キットを活用した4,766人からの複数回答

自宅療養による経過観察か、受診するかの判断は抗原検査キットによる「セルフチェック」と「自身の症状」によって決めていた。

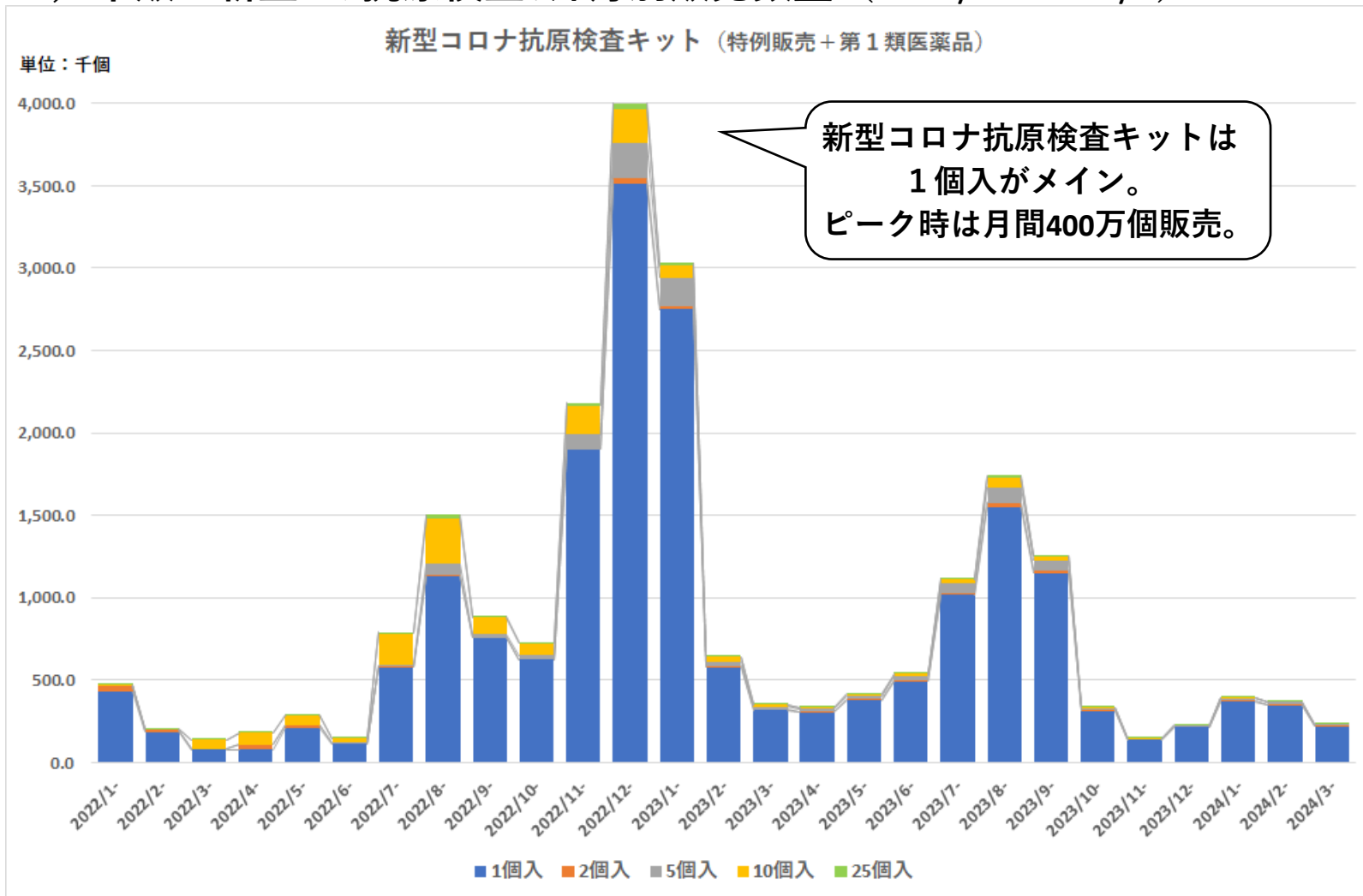
- | | |
|--|---------|
| 1. 陽性で、症状が重かったため受診した | … 31.8% |
| 2. 陽性だったが、症状が軽かったため、受診しなかった | … 12.4% |
| 3. 陰性で症状も軽かったため、経過観察し、症状が良くなったため、受診はしなかった | … 9.5% |
| 4. 陽性で、症状が重かったが、しばらく経過観察したものの、症状が良くならなかったため、受診した | … 9.1% |
| 5. 陽性で、症状が重かったが、しばらく経過観察し、症状が良くなったため、受診しなかった | … 8.9% |
| 6. 陰性だったが、症状が重かったため、受診した | … 7.6% |
| 7. 陽性で、症状が軽かったため、経過観察していたが、症状が悪化したため受診した | … 4.7% |
| 8. 陰性で、症状も軽かったため、経過観察していたが、症状が悪化したため受診した | … 3.6% |
| 9. その他 | … 12.4% |

上記の調査対象：市販の抗原検査キットを活用した4,766人からの回答

市販の新型コロナ、及び、新型コロナ・インフル同時検査キットの累計販売数量は4,536万個（1個入換算）。
医療費換算では3,400億円以上。

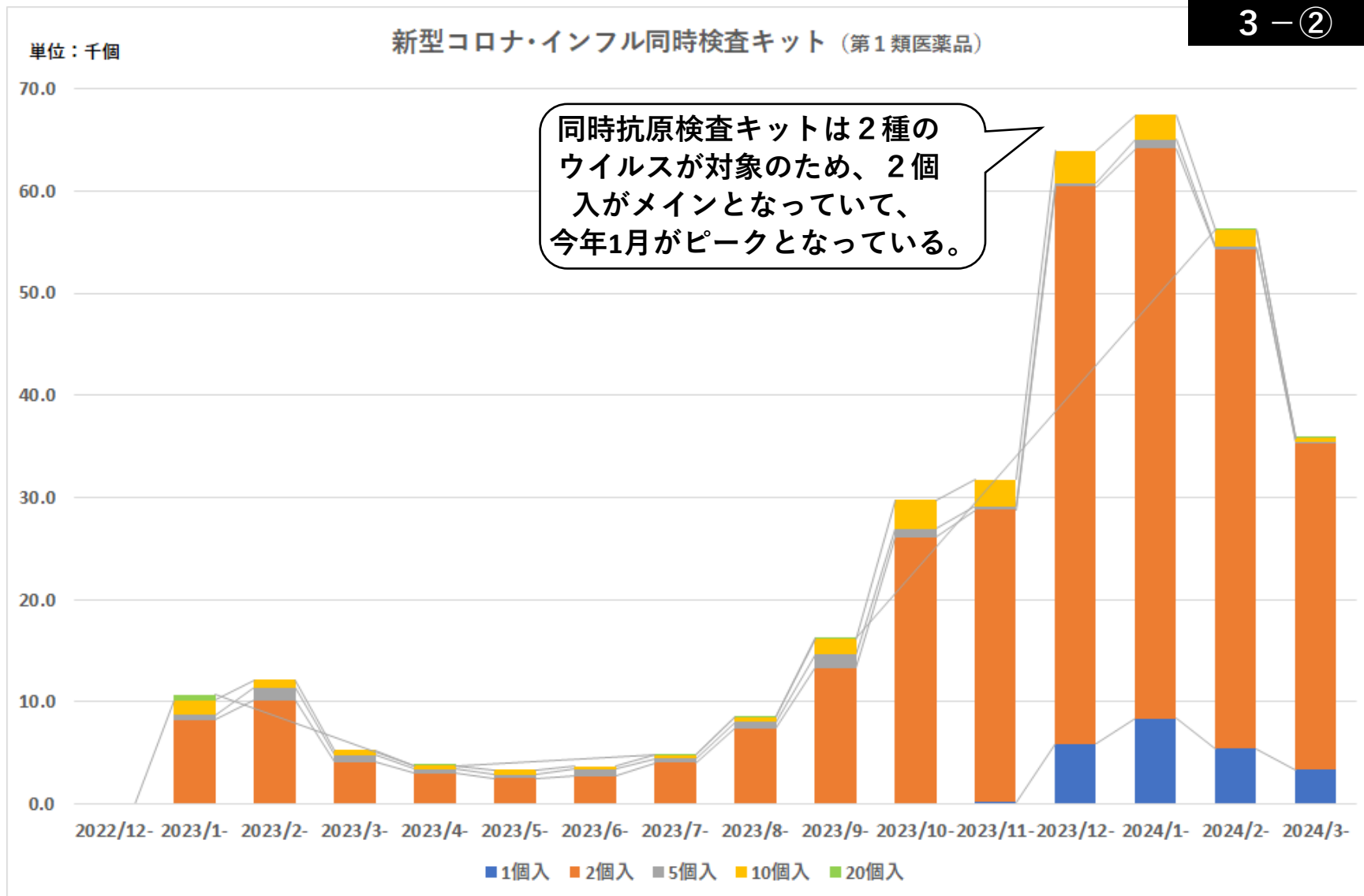
調査データ
3 - ①

1) 市販の新型コロナ抗原検査キット月別販売数量（2022/1～2024/3）

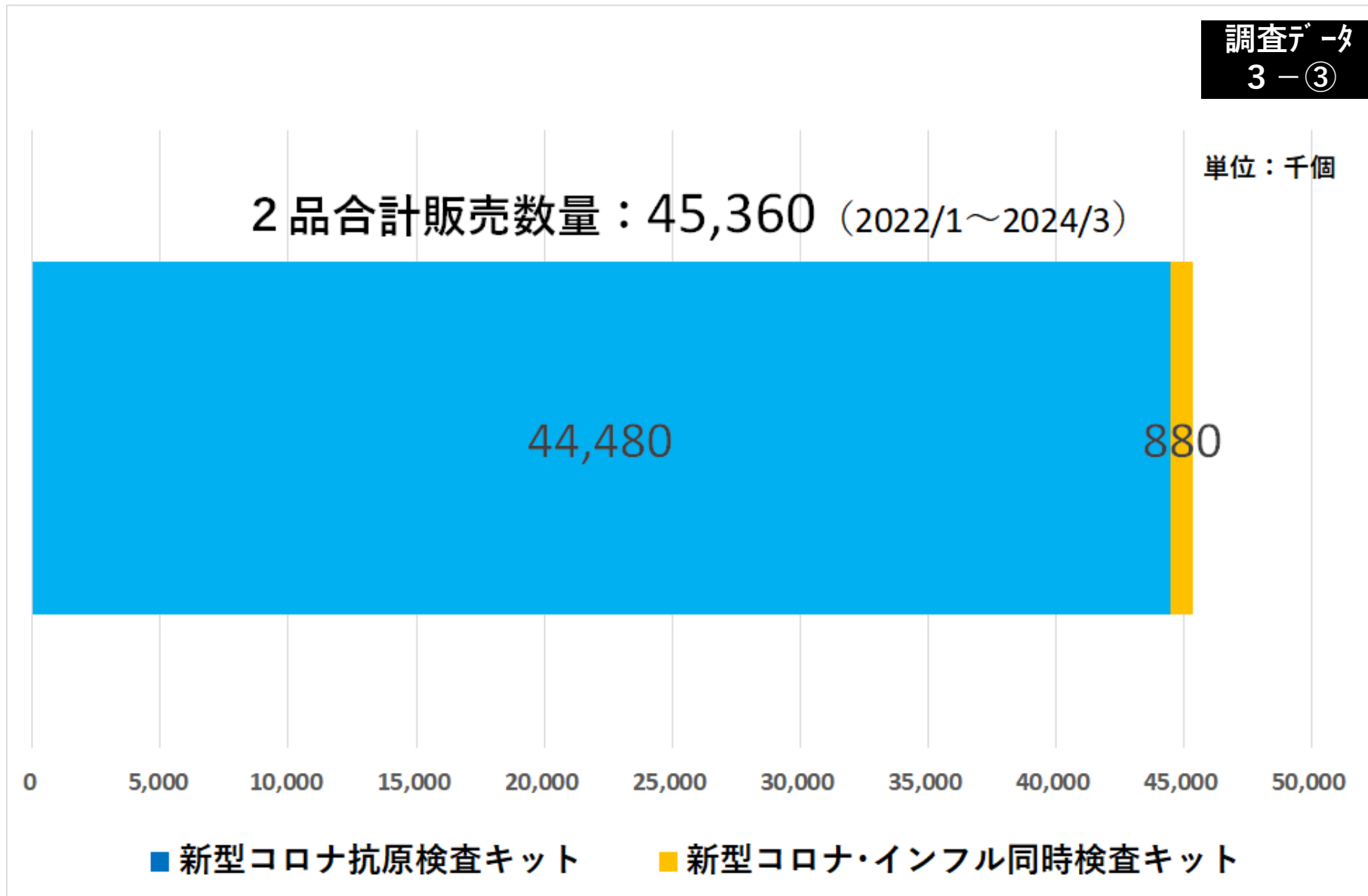


2) 市販の新型コロナ・インフル同時検査キット月別販売数量 (2022/12~2024/3)

調査データ
3-②



3) 新型コロナ、及び、新型コロナ・インフル同時検査キット累計販売数量（1個入換算）



4) 新型コロナ、及び同時検査キット医療費換算の算定根拠

①新型コロナウイルス抗原検査に関わる保険点数（2024年3月時点）

■SARS-CoV-2（新型コロナウイルス）抗原検出：300点

■免疫学的検査判断料：144点

■検体採取料（鼻腔・咽頭拭い液採取料）：25点

■初診料：288点

757点

⇒4,448万個×757点×10円=3,367億円

②新型コロナ・インフル抗原検査に関わる保険点数（2024年3月時点）

■SARS-CoV-2・インフルエンザウイルス抗原同時検出：420点

■免疫学的検査判断料：144点

■検体採取料（鼻腔・咽頭拭い液採取料）：25点

■初診料：288点

877点

⇒88万個×877点×10円=77億円

2品計：3,444億円**注：医療機関や患者、時期によって適用が異なる下記の保険点数は除外して算定**

- ・機能強化加算
- ・外来感染対策向上加算
- ・連携強化加算
- ・サーベイランス強化加算
- ・医療情報システム基盤整備体制充実加算
- ・院内トリアージ実施 等

これから市販化（OTC化）が望まれる検査項目

	検査項目
生活習慣病に関する検査	グルコース（血糖）
	グリコヘモグロビンA1c（血糖）
	コレステロール（T-CHO）
	HDL-コレステロール（HDL-C）
	LDL-コレステロール（LDL-C）
	トリグリセライド（TG）
健康状態を知るための検査	アレルギー特異IgE
	便潜血（ヘモグロビン）

上記以外に、現在、感染拡大している梅毒やクラミジア、HIVなど性感染症、及び、定期的に感染を繰り返すインフルエンザウイルス（単体用）、ノロウイルスなどの検査薬OTC化が望まれる。

⇒感染症、特に性感染症は公衆衛生上、OTC検査薬の役割は大きい

生活者がセルフチェックできる項目を増やしていくためにも、引き続き「一般用検査薬の導入に関する一般原則について」（H26.12.5）改定を要望していく。

以上